

宮本輝

【2017年度 前期企画展】

# ことばの レストラン

～味覚からみる宮本輝の世界～

2017  
4.1 土



9.29 金

授業期

[開館時間] 9:20-19:50(月～金)

[休館日] 土曜・日曜・祝日

※4/1(土)、7/17(月祝)、9/18(日祝)は開館します。

学休期

8/4(金)～9/14(木)

[開館時間] 9:20-18:00(月～金)

[休館日] 土曜・日曜・祝日、8/11(金祝)～8/18(金)、8/21(月)

オープン  
キャンパス

5/28(日)、6/18(日)、7/23(日)、8/5(土)、8/20(日)、9/10(日)

[開館時間] 10:00-15:30

※詳しくは図書館HPでご確認いただくか、直接図書館にお問い合わせください。

主催：追手門学院大学附属図書館宮本輝ミュージアム

後援：茨木市、茨木市教育委員会、茨木商工会議所、茨木市観光協会

# ことばのレストラン

～味覚からみる宮本輝の世界～

宮本輝の小説の中には、時に、実に美味しそうな料理が登場します。「花の降る午後」に登場するフランス料理店「アヴィニオン」のマダムである甲斐典子は、夜食として「フォアグラとうずらのパイ皮包み」を食べています。「骸骨ビルの庭」に描かれる「みなと食堂」の湊比呂子は、「鯖の味噌煮」や「牡蠣のしぐれ煮」、「地鶏の手羽先の燻製」や「豚肉のポトフ」などを店で出しています。どれも涎が出そうなものばかりです。

これらはすべて言葉で表現された料理で、当たり前ですが実際に口にすることはできません。読者はただ想像するだけです。にもかかわらず読者がもしそれを美味しそうに思ったとするならば、それは、読者に、そこにはないものをあると感じさせる言葉の魔法に他なりません。極端な話をすれば、本当は存在しない料理でも、小説ならば描くことは可能なのです。

小説家はその意味で、言葉を使って料理を作り出すシェフと呼べます。宮本輝は、美味しそうな料理を提供する第一級のシェフです。

では、宮本輝が作る料理たちを存分にご賞味ください。きっと宮本輝の小説のもう一つの魅力に気づくでしょう。言葉だけでできた芸術である小説は、ストーリーを読むだけではもったいないものなのです。じっくり想像しなければ小説を読む真の喜びは得られません。

ようこそ、宮本輝の「ことばのレストラン」へ。

宮本輝ミュージアム プログラムディレクター  
真銅 正宏

## 展示内容

- ◆ 料理が登場する作品の紹介
- ◆ 作品の直筆原稿展示
- ◆ 登場する料理の紹介
- ◆ レストラン風シンボル展示

## 料理が登場する作品の一例



「花の降る午後」  
(1988年、株式会社KADOKAWA)



「にぎやかな天地」  
(2005年、中央公論新社)



「骸骨ビルの庭」  
(2009年、講談社)



「三十光年の星たち」  
(2011年、毎日新聞社)



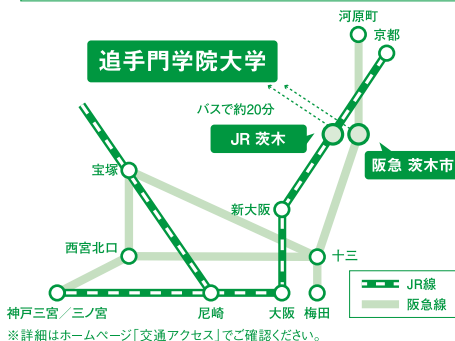
「草花たちの静かな誓い」  
(2016年、集英社)

## 宮本輝ミュージアムについて

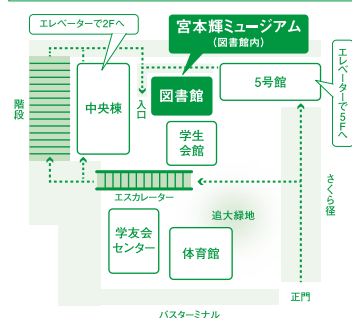
宮本輝ミュージアムは、追手門学院大学第1期生で現在も活躍する作家・宮本輝氏とその作品を紹介する場として、2005年5月追手門学院大学附属図書館内に開設しました。宮本輝氏の直筆原稿や、愛用品などを常設展示しているほか、作品をより深く感じていただけるよう、舞台背景の紹介や作品の魅力を伝える展示物などさまざまな角度から掘り下げた企画展を年2回開催しています。



### アクセス(路線図)



### キャンパスマップ



## 宮本輝ミュージアム (追手門学院大学附属図書館 内)

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 [開館時間] 図書館開館時間に準ずる。  
TEL: 072-641-9638 FAX: 072-643-9786 ※詳しくはホームページでご確認ください。  
URL: (附属図書館) <http://www.oulib.otemon.ac.jp/>  
(宮本輝ミュージアム) <http://www.oulib.otemon.ac.jp/teru/index.html>



おうてもん  
追手門学院大学

URL: <http://www.otemon.ac.jp/>